

詐欺まがいの消防点検にご注意ください！

消火器点検において、詐欺にあうパターンはほぼ決まっております。それは、こんな手口です。まずは、電話や訪問にて、対象者に接触を試みます。その際に、「消火器の〇〇です。消火器の点検時期になりましたので、お伺いします。」と伝えます。この時に重要なのは、いかにも関係者であるという風に装って接してくる事です。消火器の点検を誰がやっているかなど、多くの人は把握しておりません。だから、本当に関係者だと勘違いするのです。

そして、実際に訪問し、「薬剤を詰め替える必要がある」などと説明し、消火器を預かるのでサインをするように迫ります。ここが一番危険です。なぜなら、この時に提示される書類は、単なる預かることの承諾書ではなく、契約書になっております。

そして、薬剤を詰め替えたので代金のお支払いをしてくださいと通知が来て、その金額があまりに高額であることで、詐欺であることが発覚するのです。

ただ、その時点では契約書にサインしてしまっているのです、詐欺をする側はそれを盾に支払いを迫ってきます。また、支払わなければ消火器を渡さないという強硬手段を取られてしまいます。あまりことをおおげさにしたくない、消火器がいつまでもないのは困るため、だまされたと分かっているながら、支払ってしまう事例が非常に多くあります。

また 新手の手口で、『消防設備点検をしました、不良個所の交換をお願いします。』と見積書にサインを求め、サインをすると複写様式になっていて、契約書にサインをしたとして支払いを迫るケースもあります。